

# 「10月革命」から100年となる今年の11月7日もプーチン政権下で祝賀行事は開かれなかった。

## ウラジーミル・プーチン

後継首相のプーチン（1952）は元KGB予備役大佐の情報機関幹部。1998年7月以来、連邦保安庁（FSB）長官の任にあった。プーチンはまったく無名であり、2000年までいかなる被選出ポストにも就いたことがなかった。

2000年の次期大統領選がもう間近に迫った1999年末に、その地位の候補者のなかでプリアコフが先頭を走っていた。彼が指名を受けたのは左翼志向の祖国・全ロシア党。共産党指導者ジューガーノフが僅差で追っていた。

首相プーチンは当時党にも所属せず、候補の指名も受けていない。

一方、大統領とオリガルヒらの絶対優先事項は、断固としてプリアコフが政権に就くのを阻むことだった。ここにエリツィンが早期辞任するプランが生まれ、首相としてのウラジーミル・プーチンが、短期ながら、憲法に基づき、選挙が要らない「大統領代行」を兼任することになった。3カ月間の大統領代行とチェチェン戦争の敏腕な指導ぶりがプーチンに他の候補を寄せ

つけない特典を与えた。

直近まで選挙戦の寵児だったプリアコフの辞退がプーチンに勝利を齎した。すでに第一段階で、得票率が約53%に達した。

「エリツィンの下で」起草されたロシア連邦憲法は、ロシア大統領に米国、フランス、中国の大統領（中国は国家主席）よりも大きな権限を与えていた。

プーチンは大統領職1期目に、国有財産の再分割には邁進せず、むしろ国の政治に口を出すオリガルヒを排斥し、ロシアの国益を考慮して海外には赴かなかつた人びとの活動を後押しした。2000年以降の原油価格高騰が、ロシアの輸入能力を高めた。

政権与党が結成され、「統一ロシア」党が「祖国」党と統合した。新党には明確なイデオロギ

的政治綱領がなかった。同党が愛国主義的な選挙綱領を掲げたため、それが同党に広範な住民の支持を与えた。04年の選挙に参加した人びとの71%が大統領選挙でプーチンに投票した。

ロシア連邦およびその連邦構成主体である主要地域（州と地方）と自治共和国に真の法の支配が確立したことが、天然資源採掘や巨大軍需産業、外国貿易などの分野で合併法人の形態を

強大な権力を握るプーチン大統領。2017年11月13日、ソチ。（提供/AP-AFLO）



とる国有企業部門が優勢となる発展を齎した。主要な企業の数多くは、私的所有者から国家によって買収されたものである。こうしてロスアトムやルスギドロ、ロスセチ、ロスネフチ、ガスプロム、ロスナノ、その他の国営企業が出現した。

軍需産業は、ソ連邦から遺産を相続した生産面のインフラと工学技術および設計面の人材をもとに成功裏に発展した。ロシアは軍事力の世界的地位を取り戻した。軽工業と農業と国内産業が存続し、成長しているのは主に輸入との競争が激しい民間部門である。

1990年代の「エリツィンの」治世にはロシア人の生活水準がほぼ2分の1に低下した。2001～14年に、IMFの16年推計では、購買力平価（米ドル換算）の1人当たり国内総生産（GDP）は01年の1・21万ドルから14年の2・71万ドルまで上昇した。同年2・53万ドルのポーランドを僅かに上回るだけだった（合衆国は5・47万

## ロイ・メドヴェージェフ(左) Рой Медведев

歴史家。主な著書に『歴史の審判に向けて』（現代思潮新社）。

## ジョレス・メドヴェージェフ(右) Жорес Медведев

生化学者。主な著書に『生物学と個人崇拜』（現代思潮新社、近刊）。



### 注釈

元KGB幹部◆ベルリンの壁とスタージ（秘密警察の瓦解を自撃していた東独駐在の情報機関員ゆえに、ソ連体制が抱える問題をいち早く認識し、改革の必要を痛切に自覚する状況に置かれた面がある。情報機関員は頑迷な保守派との西側の理解は妥当でない）。

敏腕な指導ぶり◆チェチェン紛争は民間人の犠牲や避難民発生を非難する欧米には人権問題と映るが、ロシアには多民族の連邦国家を維持できるか否かの死活問題。新首相は99年の3都市爆弾テロを武装勢力の仕業と断定、ワッハーブ派勢力（チェチェンのイスラム国家）化を推進。隣国タゲスタン侵攻を停戦違反として第2次チェチェン戦争に踏み切った。まず兵士と将校の給与増額。鉄道・空路を断ち、反乱地域の電気・ガスを止め、首都クロスヌイに進攻、年明け2月に大統領官邸を占拠した。この強硬路線が反チェチェンに傾いた国民の熱い支持を集めた。

ロシア連邦憲法◆大統領権限は強大で下院の解散権や議会が制定した法の拒否権をもつ。半面、憲法は中央・地方関係について「憲法」「連邦条約」「その他の条約」を併記した。エリツィンが野党優位の院と闘うため上院議員たる地方の首長らを味方につけようとする各連邦構成主体と個別に結んだ権限分割条約は「その他の条約」にあたる。地方の知事や大統領らが地元資源の困り込みを図る方策ともなった。

国有資産の再分割◆エリツィン期にオリガルヒが奪った国有資産を再分割するという意味。

真の法の支配◆「真の法治国家」の意。エリツィン時代は無秩序な不法状況に陥っていた。オリガルヒによる略奪的な民営化が進行。連邦構成主体の州や共和国は独自の憲章（地方の憲法）をもち、各主体の制定する法律の25～35%が連邦法と矛盾。上から下まで蔓延る汚職と腐敗。そのうえ犯罪組織も跋扈する。これに対し、2001年、プーチンが唱えたのが「国家が強力なほど、個人は自由である。民主主義は法の独裁である」という主張。こうしてプーチンは「垂直的な権力構造」や「法空間の一体性」を追求していく。河原祐馬（2007）、中馬瑞貴（2013）を参照。

軍事力の回復◆武器輸出（表1）は財政力に劣るロシア国防費にとり貴重な財源でもある。

90年代の生活水準低下◆ソ連崩壊後7年連続マイナス成長が続ぎ、実質GDPは98年までに39・3%減退。インフレは99年まで年率5・31倍、429%で高騰。生活困窮の最大要因は、旧ソ連各国が全て外国になつてしまひ、旧ソ連15カ国相互の分業関係＝原材料

ル)。ロシアの対外公的債務は同期間に1億100万ドルから3500万ドルに減少した(ソ連崩壊後に出現した諸国はすべて公的債務が増加した)。

プーチン大統領の新しい経済政策と国際政策のすべての問題を、この簡略な記念論稿で検討する余地はない。しかしながら読者各位には、現代ロシアに、新しい階級があるかどうか? との質問がありではないだろうか。

それは間違いなく形成されており、存在するが、ブルジョアジーの階級ではない。08年に「正義の事業」党に衣替えした大ブルジョアの「右派連合」党は、国家院(下院)選挙で5%条項の壁を克服できず、得票率の評定も2%を越えなかった。

ロシアの「新しい階級」とは、所得と不動産の価値が、もしもこの概念で人びとを区分するならば、所得と財産価値が、工業と農業の生産労働者、大衆職業従業員、教師、看護師、公共輸送や商業その他の労働者より5~10倍上まわるグループである。彼らは「中産階級」であり、そ

こには政府の官吏、軍と法執行機関の将校、司法・検察の官職者、国や自治共和国や各州・地方の議会議員、大統領府の官吏、学者や創造的な活動家、中小企業経営者などを含む。

周知のように政治経済学によれば、社会の生産諸力の発展もまた、それに応じて生産諸関係を変化させる。21世紀の高度技術社会では、プロレタリアートと農民は、彼らが20世紀初頭のロシアに存在したような形ではもはや存在しない。1917年にロシアを二つの革命に導いた政治経済の現実ももはや存在しない。欧州のあらゆる諸国で今支配的なのはまさに中産階級である。ただし合衆国の経済と政

治は今も大資本が優勢であり、その代表が新大統領のドナルド・トランプだ。中国では70年代の鄧小平の改革により「中国独特の社会主義」を形成している。だが、ロシアの中産階級の場合「統治するエリート」という概念で定義される特別な集団を選別する必要がある。一般的に言えば、このエリート層は、大統領令と首相の政令で任命されるか、国家院及び連邦院や地方の立法機関で選出される役人層からなる。「統治するエリート」

は、地方の知事、自治共和国の大統領、軍と法執行機関、連邦保安庁、内務省、判検事上層部、中央銀行の幹部職員、国営企業トップ、その他部門の責任者たちを含んでいる。現代の国家体制の構造は大変複雑だが、ロシアは世界最大の国であるばかりか、一番錯綜した国でもある。ロシアを管理する仕組みは他から模倣する訳にいかない。ロシアは85の連邦構成地域からなっており、うち17は自治共和国である。ここでの現地語はロシア語と同等の地位をもつ。キリスト正教やイスラ



焚き火で暖を取るチェチェンの子どもたち。2005年12月29日、グロズヌイ。下は今年の戦勝記念日にクレムリン近くのメモリアルで。2017年5月9日、モスクワ。(提供/AP・AFLO)

## 異論派「兄弟が見たレーニンからプーチンまで」

# 10月革命はロシアの人々に幸福をもたらさなかった

翻訳+注釈 — 佐々木 洋 主な訳書に「ソヴィエト農業」(北大図書刊行会)

最終回 4 第 回

調達と製品・半製品販路が断たれ、企業の生産、運輸、資金支払いが激減・破綻したことになる。

【表1】武器輸出国上位(1990~2016年/100万US\$)

	1990年	2000年	2010年	2016年
米	10,741	7,607	8,090	9,894
露	9,747	4,503	6,172	6,432
独	1,830	1,610	2,735	2,813
仏	1,695	1,114	899	2,226
中	941	302	1,477	2,123
英	1,867	1,623	1,151	1,393
イスラエル	85	404	655	1,260
伊	206	208	529	802
韓	72	10	197	534
ウクライナ	-	270	479	528

注:ロシアの1990年欄は旧ソ連の数字  
資料: SIPRI Arms Transfers Database

ポランド対比❖対露制裁と油価下落で経済が停滞、最近年の同指標はポランドと逆転している。

対外公的債務の減少❖オリガルヒ傘下事業の国営企業への統合と石油・ガスの輸出収益により税収が増加したおかげで、ロシアはパリクラブ(主要債権国会議)に対する公的債務を06年前倒しで完済した。

中産階級❖著者は、「中産階級」を年間所得額と不動産額等が中・下層労働者の5~10倍にあたる。現代ロシア社会の担い手層とみなし、そのトップ層としての「統治するエリート」に着目しよう求めている。

世界史の一大転換点❖社会主義が現実となり、世界に衝撃を与えた。民族自決の原則もそうだ。ところが、ソ連に現存した社会主義はスターリン専制期に大きく変節。人々の幸福と正義を齎さなかった。しかしロシア革命を世界史の一大転換点と見る場合、10月革命が機縁となり資本主義が「修正」を迫られた側面にも留意する必要がある。30年代世界恐慌よりも以前の1919年、ベルサイユ講和会議に参加していたケインズは、レーニンの「資本主義体制を打倒する最善の道は通貨を台無しにする」という発言を伝え聞き、彼は「確実に正しい」と述べていた。大量失業を抱えた資本主義は、工業化と集団化を進めるソ連社会主義に対抗し、「資本主義の修正」を試行錯誤。この「修正」を理論化したのがケインズの『一般理論』だった。ケインズ全集第2巻『平和の経済的帰結』東洋経済新報社、149~150頁。

ム教、仏教、ユダヤ教の信仰も自由である。ロシア連邦の州知事と自治共和国大統領は、地域内の主要な全問題を解決するうえで、過去の共産党とソヴィエトの管理者より大きな権限を有する。こうした条件のなかで、大統領の強い権力には強い軍と同様、ロシアの欠点ではなく、必要にもとづくものである。ウラジーミル・プーチン大統領の強大な権力は、彼の広範な憲法上の権能以外に、国の指導者としての高い権威と大多数の国民の目に見えた支持にも依っている。プーチンは2018年に再選されると見てよい。彼自身にはこれが最後の6年任期となる。24年以降のロシアの統治にどのような変化が生ずるかは予測し難い。

10月革命記念日はかつてパレードとデモンストレーションが伴うソ連で一番の祝祭日だったが、現在のロシアでは祝われないう。たとえ100年の祝いがあるとしても決して注目されない。この革命は世界史の一大転換点だった。それは多くの国々の運命にも、とりわけ中国の運命にも大きな影響を与えた。中国共産党は1921年に創立され、コミンテルンに加盟した。英国共産党は10月革命の直接的影響下に20年に設立された。これはその他多くの共産党にも言える。11月7日はベラルーシ国

民の祝日である。ベラルーシでは、社会の貧富の階層分化がロシアほど顕著ではない。ベラルーシ経済は「市場社会主義」と定義される。

ロシアの主な祝祭日になったのが「5月9日の偉大な戦勝記念日」である。

10月革命100周年は重要な歴史上の記念日だが、もはや祝日ではなくなっている。実際この日に祝う必要はない。10月革命は歴史の進路を変えたが、ロシアの人びとに幸福と正義をもたらすものにはならなかった。

ロシアの人びとに対する巨大な政治的実験には、どれも継承性・連続性がなかった。ネツプは戦時共産主義の破壊的傾向を拒否した。スターリンの集団化と5年計画はネツプの成果を葬り去ってしまった。フルシチョフの「雪解け」は、スターリンのテロル、全体主義、個人崇拜を暴き出した。ブレジネフはフルシチョフの「ワンマン的な政策決定と主観性」を拒否した。ゴルバチョフはブレジネフ治世を「停滞期」と宣告し、社会主義的民主主義を打ち立てようとした。エリツィンは、社会主義もソ連邦もぶち壊してしまった。現代ロシアの政治経済体制がその第一歩を踏み出したのは1917年ではなく2000年である。新技術の発展や労働生産性、

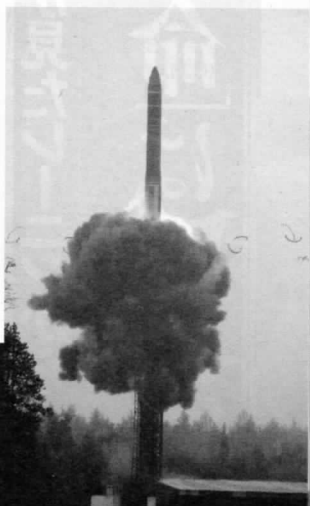
国民の福祉および健康だけでも、ロシアは今、欧州諸国と中国からかなりの遅れをとっている。ロシア人男性の平均寿命については世界保健機関(WHO)によるとインドやバングラデシュの後塵を拝している。

ロシアの資源の余りにも多くの部分が今なお核ミサイル能力のために浪費されている。広島と長崎の破壊から始まり、ウラルとチエルノブイリと福島は惨事に至るすべての悲劇を体験したからには、この分野における真剣な規制が全世界の最も重要なイニシアチブとなって然るべきだろう。

世界で最も広大かつ最も豊富な諸資源を有するおかげで、ロシアは、自国がまだ達成していない好機と見通しについて、世界の他のあらゆる国々のはるか先を独走している。

ささき よう・札幌学院大学名誉教授

「異論派」兄弟が見たレーニンからプーチンまで



大陸間弾道ミサイルRS-24「ヤルス」の打ち上げ光景。2009年5月29日、ロシア。(提供/AP・AFLO)

第4回

# 10月革命はロシアの人々に幸福をもたらさなかった

5月9日の戦勝記念日◆ドイツ国防軍の降伏文書調印が、ベルリンの赤軍司令部で5月9日現地時間午前0時15分、西欧夏時間(当時英国も西欧夏時間)8日午後11時15分、モスクワ夏時間9日2時15分に行なわれたため、対独戦勝記念日はロシアでは5月9日、欧米では5月8日になっている。ソ連赤軍はジュコーフ元帥が調印した。

「雪解け」◆この言葉はスターリン死後のソ連社会の自由化の雰囲気をはやく反映したエレンブルグの小説『雪どけ』(54年刊)による。60年代には異論派(デインツェント)と言われた反体制知識人らの作品や民主化擁護の運動が生まれた。メドヴェージェフ兄弟の著作と活動もその代表例である。

ワンマン◆フルシチョフは毎週何かの改革を行なうか、予想外の提案をして周囲を困らせ続けたという。核ミサイル能力のための浪費◆ロシアは米国同様、世界断トツの核分裂性物質蓄積国「表2」。ロシアはまた老朽核弾頭と原潜・原発の使用済み核物質を再利用する高速中性子炉の実用化で日・仏・中をリードする。ジョレスは、60年前の核惨事の影響が十分解明されていない、同じウラルの「マヤーク核施設」ゾーンの一角で、溜まりすぎたプルトニウムを活用するための高速中性子炉の新設計画があるとして、現代ロシアに独特な非対称性を指摘する。ジョレス『ウラルの核惨事』(増補改訂日本語版)現代思潮新社、10頁。

表2] 2012年現在の核分裂性物質の量 (トン)

	高濃縮ウラン	核兵器プルトニウム	原子炉級プルトニウム
露	737	128	48.4
核保	米	610	91.9
有	仏	30.6	6
国	英	21.2	7.6
	中	16	1.8
	パキスタン	2.75	0.14
	印	2.0	0.5
	イスラエル	0.3	0.82
	北朝鮮	-	0.03
	日本	-	44.9
	その他	20.0	18.3
計	1440	241	256

資料：www.kakujo.net/ndata/pu\_wrlld.html

11月3日号 第1回注釈について

「表1」への補足 第2次大戦ソ連戦死兵1360万人のうち300万は捕虜になり、拘留中に死んだ兵士の推計総数。ゴラルスキ原著428頁。